



瑞浪超深地層研究所の 施設活用について

平成24年12月21日

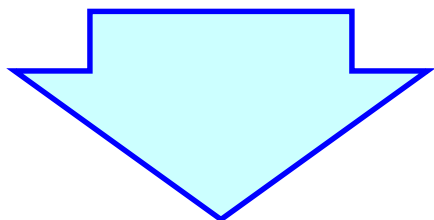
独立行政法人 日本原子力研究開発機構
東濃地科学センター

これまでの経緯と報告事項

【当面の施設活用方策】

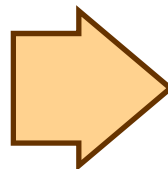
(第3回跡利用検討委員会 (H15年8月19日) でのご承認)

当面の研究所施設の活用方策については、本委員会でのご審議に基づき、事務局（原子力機構）にて案を作成し、本委員会でご審議して頂くこととします。



【前回の委員会での主なご意見】

- 研究所の研究への認識を深める
- 地域の機関とタイアップしながら、子供たちに研究所を紹介する



【今回の委員会での報告事項】

- 体験学習への取り組み
- 地域への広報活動
- 地域の機関とのタイアップ
- 管理棟展示コーナーの整備
- 研究坑道の活用状況

瑞浪超深地層研究所における体験学習への取り組み(1)

2

学生を対象とした先端科学体験

【サイエンスキャンプ】



地下水の水質分析



野外での断層の観察

高校生を対象とした先進的
科学技術体験合宿
プログラム

(実施日)
平成24年8月8日～10日
(参加人数)
10名

【スーパーサイエンスハイスクール】



深度300m研究アクセス坑道

文部科学省が進める科学技術、理科・
数学教育を重点的に行う学校をスーパー
サイエンスハイスクールとして指定し、
科学技術系人材の育成に資する。

平成24年6月：埼玉県立不動岡高等学校（3名）
平成24年7月：岐阜県立恵那高等学校（84名）
平成24年8月：名古屋市立向陽高等学校（9名）

瑞浪超深地層研究所における体験学習への取り組み(2)

3

【講師派遣】

- ◆岐阜県土地家屋調査士会 東濃支部（平成23年11月）
- ◆地域ワークショップ大町（平成24年2月）
- ◆防災リーダー養成講座
（平成24年6月：瑞浪市、8月：御嵩町、9月：可児市）
- ◆岐阜大学への集中講義（平成24年9月）



岐阜大学への集中講義
（平成24年9月）

各イベントへの出展

- ◆TOKI-陶器祭り(平成24年4月:土岐市)
- ◆かがく・さんすうアカデミー
（平成24年7月:各務原市・中部学院大学）
- ◆サイエンスフェア(平成24年7月:サイエンスワールド)
- ◆美濃源氏七夕まつり(平成24年8月:瑞浪市)
- ◆おもしろ科学館2012inみずなみ(平成24年8月:瑞浪市)
- ◆ふれあいフェスティバル(平成24年11月:土岐市)



おもしろ科学館2012inみずなみ（平成24年8月）
【主催：瑞浪市、中部経済産業局】

瑞浪超深地層研究所における体験学習への取り組み(3)

施設見学会



毎月1回の施設見学会
(深度300m研究アクセス坑道)

【見学者数】

(平成23年11月～平成24年12月7日)

見学者総人数
2,743 人
うち、 入坑者総人数
2,129人

主な報道関係等

- 【平成23年11月】
廃棄物出口見えぬ闘い「地層処分」確立、道半ば(中日新聞)
- 【平成23年12月】
情報ライブ ミヤネ屋(読売テレビ)
- 【平成24年1月】
「原発の後始末 捨て場がない」核のゴミ(雑誌:日経ビジネス)
- 【平成24年3月】
「報道ステーションSUNDAY」(テレビ朝日)
- 【平成24年3月】
忘れない 未来のために～東日本大震災から1年～(NHK総合)
- 【平成24年5月】
瑞浪の地層研が昨年度の事業説明 本年度の計画も(中日新聞)
- 【平成24年6月】
ETV特集(NHK Eテレ)
- 【平成24年10月】
クローズアップ現代(NHK総合)

など

【事業説明会の開催】

- 【自治体】(10ヵ所)
岐阜県、瑞浪市、土岐市 など
- 【地元区】(5ヵ所)
戸狩区、山野内区、月吉区、河合区、賤洞町内会
- 【その他】(7ヵ所)
中部経済産業局、中部電力(株) など

【広報誌における情報発信】

平成14年4月より毎月1回発行
平成24年11月号で128号

- 【主な配布先】(配布部数 約500部)
瑞浪市、土岐市、戸狩区、山野内区、月吉区 など

【東濃地科学センターセミナーの開催】

毎年1回下期開催



第26回東濃地科学センターセミナー(平成24年2月12日)
(参加者:約64名)

【多治見ビジネスフェア「き」業展への出展】

原子力機構が所有する特許や技術を活用した製品を紹介



- ・水と親和性などを改良した和紙で作った「金屏風」
- ・チタン系金属の溶接技術に係る特許技術を利用した軽くて錆びない「理容はさみ」

【地層科学研究 情報・意見交換会の開催】

東濃地科学センターで実施している地層科学研究の研究成果の紹介(毎年開催)



情報・意見交換会(平成24年11月14日)
(参加者:約140名)

【職場体験学習】

職場体験学習を通して、生徒一人一人が勤労観・職業観を見つめ直し、自らの生き方や進路に大きく関心をもつ機会を目的とする。

(実施日)
平成24年10月16日～17日
(参加人数)
1名(日吉中学校)



河川水分析のための採水

【サイエンスワールドとの共催】

(実施予定日)
平成24年12月22日(土)
(募集人数)
12組24名(親子参加)

サイエンスワールド 冬のイベント

太陽電池のエコカー工作 12月16日(日)
13:30~15:00
新しいエネルギーを主とする科学技術を紹介し、太陽電池を使ったエコカーを作ります。

もっと深〜く地層探求 12月22日(土)
13:00~15:30
サイエンスワールド周辺の化石が含まれる地層観察。地下300mの水や岩石を調べます。

新エネルギー見学会 1月5日(土)
8:30~17:30
試費メガソーラー発電所や岩波火力発電所を見学し、電気はどのように作られているかを学びます。

しなが6500 1月20日(日)
13:30~15:00
光の届かない深海の世界には様々な不思議があります。観客が実験を交えて、深い海の世界を解説します。

詳しい内容は右記までお問い合わせください。
一申込
12月1日(土)より電話にて受付を開始します。

サイエンスワールドとの共催で「もっと深〜く地層探求」と題して、サイエンスワールド周辺の化石が含まれる地層観察、研究者とともに瑞浪超深地層研究所の地下500mから採取された水の分析や岩石の観察を実施する予定。

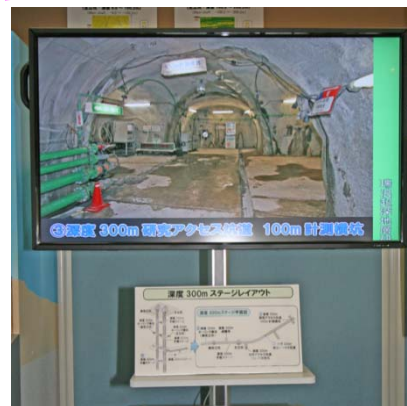
瑞浪超深地層研究所 管理棟の展示コーナーの整備



【説明パネル】
・福島技術本部の事業
内容パネルの追加



【情報発信模型】
・施設説明スライドの更新



【電子掲示板】
・施設説明スライドの更新・追加
・施設紹介動画の更新・追加



【壁面スケッチ模型】
・壁面データ（400～500m）
の追加（立坑のみ）



【貫通石】
・深度500m予備ステージ
の貫通石
・見学者、来客者に配布



【壁面スケッチ模型(卓上)】
・壁面データ（400～500m）
の追加（立坑のみ）

研究坑道の活用状況

説明用パネルの更新

研究坑道内に設置されている説明用パネルの更新



深度300m研究アクセス坑道



深度300m研究アクセス坑道 11m計測横坑

施設供用



名古屋大学におけるニュートリノ
捕捉用原子核乾板の貯蔵
(深度200mボーリング横坑 主立坑)



東濃地震科学研究所における応力計の設置
(深度300m研究アクセス坑道 11m計測横坑)

体験学習の場としての活用

- ① 学生を対象とした先端科学体験
- ② 講師派遣
- ③ 各イベントへの出展
- ④ 瑞浪超深地層研究所の施設見学会

情報発信

- ① 地域への広報活動(事業説明会、広報誌など)
- ② 地域機関等とのタイアップ
- ③ 管理棟の展示コーナーの内容等更新・追加

研究坑道の活用

- ① 外部機関利用の促進
- ② 説明用パネルを適宜更新

ご清聴ありがとうございました

MIZUNAMI

